

平尾台 第一回ハイキング講習会～読図～

【報告者】Y中

【日時】2017年4月16日

【天候】晴れ

【参加者】CL：M本、Dr、I藤、T・K、F谷、見学者、Y中

《コースタイム》

9：00 平尾台自然観察センターに駐車→9：30 目白洞→貝塚山(472.4)→11：00 天狗岩(436)→11：20 桶が辻(568.8)→周防台(606.5)→12：30 滝→12：50 青龍窟→1：15 鬼ノ唐手岩→広谷湿原→林道合流→575 ピーク→四方台の北の登山道合流→南下→四方台(618.7)→茶ヶ床園地→15：00 駐車場

《 報 告 》

正直に申し上げます。読図が苦手です、とてもかなりすごく…。克服するには慣れるしかないのですが、普段の山行ではつい使わずに済ましてしまう事が多いのが現状。恥を捨て、改めて学ぶ気満々で読図山行に参加しました。

始まりは、Drが準備してくれた資料「なぜ読図を行うのか」を読んできてからでした。当日は、地図とミッションが書かれた課題用紙が配られました。また、一枚の写真を見せられ、それはこの地図上の何処から撮ったものか？を予想しました。ポイントは、尾根や等高線から予想出来る形と、背後に見える田んぼや住宅でした。そしていよいよ出発！実際には、「吹上峠から茶ヶ床園地までの車移動も、ナビを使わず地図で道ナビ」というミッションがすでに始まっていました。次に車を自然観察センターに停めて、歩き出す時に自分がどこにいるのかを確認する際、2500 地図には載っていない、ピーク名やポイントが載っている“平尾台ルートマップ”をコソッと見てしまいました。すぐにバレました。地図上のドリーネとピークの見分け方は理解しました。目白鍾乳洞の横の細い道から入り、改めてスタートです。

① 出発地点から南南東に見えるピーク A を見つける→貝塚山

②ピーク A の東側にある尾根 B をトラバースするように、等高線にそって南に下る

地図とコンパスを睨み付けながら、進んでは立ち止まりの繰り返しです。途中かなり長い時間立ち止まったりしたのは、この日は、平尾台トレイルランニング大会と被っていたのです。露出度高めな空荷のランナー達が、次から次にやってきます。カラフルなテーピングに新鮮さを感じながら、自然の中を駆け抜ける姿に、いつか私も！？なんてほんの少し想いを馳せたのでした。

眺めの良い天狗岩でしばし休憩をして、平尾台ならではの開けた景色を見ながら、次々とミッションを通過していきます。

⑥自分が 568.8 ピークにいることを確定させる

⑦606.5 ピーク過ぎて右(東北東)に派生する尾根をたどり青龍窟むかう

ルートマップには、桶ヶ辻 568.8、周防台 606.5 と書いてありますが、2500 地図にはもちろん書いてありません。

実際には南下せずに東よりのルートから行くチョイスをしたため、先に滝を見つけちゃいました。(とのこと。)

その後青龍窟に着き、冷んやりとした空気を感じながらヘッテンの準備。Dr を先頭に、頭をぶつけないよう屈んだりしながら洞窟の中を抜けていきました。暗闇から明るい地上に抜けるにつれて、一気に温度も湿度も上がります。洞窟の中は真夏でも快適で、平尾台の有料の鍾乳洞は全て制覇している洞窟好きな私には、ご褒美のような時間でした。

13:15 頃、鬼の唐手岩で数名がロープワーク講習会のような事をしているのを見ながら、広谷湿原を北上。そして林道に合流？この辺りもチンブンカンブン情けない。本来は貫山まで行く予定でしたが、そこはミッションに書いてある通りの展開に。

⑩以後の行程を地図で読み、下山までに予想される時間を推定せよ。貫山に行くか、このまま出発点に戻るか決めよ

今回初リーダーの M 本さんの判断で、575 ピークまで進み、戻る事に決まりました。実はこの日、午前中はかなり寒くて曇りだったのですが、時間が経つにつれてドビーかんになってました。途中休憩も入れながら、降りて行きます。水分補給はホント大事です。今回ボッカしてる方が 3 名！いたので、水ならたくさんありました。(飲めない水かもですが)

最後、茶ヶ床円地から駐車場までは、数名がランニングすることに。登山靴で本気で必死で走り抜ける姿は、すれ違う観光客には異様に見えたことでしょう。その時は見学者、今は新人会員さんである K 成さんの走りは、若さとパワーで溢れてました。

山岳会員なのに、地図とコンパスを使いこなせなくてどうする！と、常々へこんでいる私ですが、今回も何度もへこみました。それでも、こういった講習会のおかげで、予習復習が出来るのです。体力とお酒の強さだけでなく、この 2 つのアイテムをもっと使って、読図力を上げていきたいものです。

資料の用意をしてくれた Dr、初リーダー M 本さん、メンバーの皆さま、ありがとうございました。



